


平成27年度
乳用種初生牛の経営に関する調査報告書
【要約版】

平成28年2月
 独立行政法人農畜産業振興機構

【要約版】

1 調査目的と調査対象経営戸数

乳用種初生牛については、生産実態のデータが非常に少ないことから、乳用種初生牛の価格形成要因について生産コスト、経営動向等を総合的に調査分析し、肉用子牛生産者補給金制度の円滑な運用に必要な資料の整備を図ることを目的として調査を実施した。

調査対象経営を選定するに当たり、畜産統計（農林水産省統計情報部）における乳用牛飼養戸数及び頭数等を勘案して10道県を調査対象とし、戸数については、北海道85戸（42.5%）、9県（岩手県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、長野県、兵庫県、熊本県）115戸（57.5%）の合計200戸を選定した。

なお、有効回答数は200戸のうち200戸であった。

2 調査対象経営の概要

調査対象経営1戸当たりの経産牛年間平均飼養頭数は64.1頭で、北海道は73.2頭、9県は57.4頭となった。

年間生乳生産量（平成26年度）は、1戸当たり平均536.0トンで、北海道は555.3トン、9県は521.7トンとなった。これを経産牛1頭当たりの年間生乳生産量にすると、全体は8,246kg、北海道7,616kg、9県8,711kgとなり、9県が北海道を1,095kg（14.4%）上回っている。

年間分娩頭数については、1戸当たりの平均分娩総頭数は55.0頭で、北海道62.4頭、9県49.6頭となり、北海道は9県に比べ12.8頭（25.8%）分娩頭数が多い。

乳用種子牛の販売について2か月齢未満の乳用種雄子牛をみると、市場で販売された1戸当たりの平均販売頭数は、全体で17.7頭、北海道20.7頭、9県15.5頭となっている。全体の1頭当たり平均販売日齢は25.6日齢、1頭当たり平均販売価格は52,753円となった。北海道については同12.3日齢、同48,972円、9県では34.9日齢、55,409円となった。9県は北海道より22日以上長く飼養しているにもかかわらず価格差は北海道より6,437円高いだけで、長期の飼養が販売価格に結びついていない。

相対取引の場合は、全体で1頭当たり平均販売日齢14.3日齢、1頭当たり販売価格39,649円となり、北海道については、同12.7日齢、同45,922円、9県は同16.2日齢、同32,256円となっている。

3 酪農部門収入

(1) 地域別

調査対象経営における平成 26 年度の酪農部門収入は、全体平均で総額 6,150 万円となり、その主な内訳は、「生乳販売」5,250 万円 (85.4%)、「子牛販売」374 万円 (6.1%)、「その他」266 万円 (4.3%) となっている。

北海道は総額 6,011 万円で、「生乳販売」4,950 万円 (82.4%)、「その他」382 万円 (6.4%)、「子牛販売」302 万円 (5.0%) となった。9 県では総額 6,253 万円で、「生乳販売」5,471 万円 (87.5%)、「子牛販売」427 万円 (6.8%)、「その他」180 万円 (2.9%) となった。9 県について北海道と比較すると「生乳販売」、「子牛販売」は 9 県の収入額が多く、「育成牛販売」と各種補助金を含めた「その他」で北海道が 9 県を上回ったものの、総額においては 9 県が北海道より 200 万円以上多かった。

経産牛 1 頭当たり酪農部門収入は、全体で 95.9 万円、北海道は 82.1 万円、9 県は 108.9 万円となっており、北海道は 9 県より 26.8 万円低い。

酪農部門収入に対する乳用種初生牛販売収入の割合は、全体では 2.5%で 155 万円となり、北海道は 1.8%で 108 万円、9 県では 3.0%で 190 万円となっている。

(2) 経産牛飼養頭数規模別

平成 26 年度の酪農部門収入を規模別で見ると、最も収入額が多いのは「100 頭以上」層で、1 戸当たり 15,763 万円である。最も収入額が少ない階層は「1~29 頭」層で 2,272 万円となり、その差は 13,491 万円となっている。

北海道において最も収入額の多い「100 頭以上」層は、1 戸当たり 11,550 万円で、最も収入額の少ない「1~29 頭」層は 1,679 万円で、その差は 9,871 万円となっている。9 県において最も収入額が多い「100 頭以上」層は 1 戸当たり 20,299 万円で、最も収入額の少ない「1~29 頭」層は 2,356 万円となっており、その差は 17,943 万円となっている。

調査対象経営 1 戸当たり平均酪農部門収入は、全体で 6,150 万円となっているが、この額以上の収入となる階層は、全体では 80 頭以上の階層となっている。北海道における 1 戸当たり平均酪農収入は 6,011 万円で、この額以上の収入となる階層は 80 頭以上の階層となっている。9 県の平均酪農収入は 6,253 万円で、この額以上の収入となる階層は 50 頭以上の階層となっている。

経産牛 1 頭当たり酪農部門収入についてみると、全体で最も収入が多い階層は「1~29 頭」階層で経産牛 1 頭当たり 100.1 万円となり、「80~99 頭」階層が経産牛 1 頭当たり 90.8 万円で最も少ない額の階層となっている。

表 1 調査対象経営の酪農部門収入

(全体：200 戸)

	生乳販売	子牛販売		育成牛販売	廃用牛等販売	その他	合計
		初生牛販売					
平均	5,250 万円 (85.4%)	374 万円 (6.1%)	155 万円 (2.5%)	83 万円 (1.3%)	177 万円 (2.9%)	266 万円 (4.3%)	6,150 万円
1～29 頭	1,967 万円 (86.6%)	140 万円 (6.2%)	37 万円 (1.6%)	22 万円 (1.0%)	53 万円 (2.3%)	90 万円 (4.0%)	2,272 万円
30～49 頭	3,217 万円 (83.4%)	280 万円 (7.3%)	63 万円 (1.6%)	51 万円 (1.3%)	125 万円 (3.2%)	185 万円 (4.8%)	3,858 万円
50～79 頭	5,019 万円 (85.6%)	321 万円 (5.5%)	110 万円 (1.9%)	79 万円 (1.3%)	201 万円 (3.4%)	243 万円 (4.1%)	5,863 万円
80～99 頭	6,827 万円 (84.3%)	413 万円 (5.1%)	149 万円 (1.8%)	205 万円 (2.5%)	237 万円 (2.9%)	417 万円 (5.1%)	8,100 万円
100 頭～	13,583 万円 (86.2%)	1,003 万円 (6.4%)	617 万円 (3.9%)	167 万円 (1.1%)	367 万円 (2.3%)	643 万円 (4.1%)	15,763 万円

(北海道：85 戸)

	生乳販売	子牛販売		育成牛販売	廃用牛等販売	その他	合計
		初生牛販売					
平均	4,950 万円 (82.4%)	302 万円 (5.0%)	108 万円 (1.8%)	173 万円 (2.9%)	204 万円 (3.4%)	382 万円 (6.4%)	6,011 万円
1～29 頭	1,093 万円 (65.1%)	173 万円 (10.3%)	28 万円 (1.7%)	85 万円 (5.1%)	47 万円 (2.8%)	281 万円 (16.7%)	1,679 万円
30～49 頭	2,722 万円 (73.9%)	227 万円 (6.2%)	70 万円 (1.9%)	113 万円 (3.1%)	205 万円 (5.6%)	418 万円 (11.3%)	3,685 万円
50～79 頭	4,302 万円 (82.8%)	258 万円 (5.0%)	104 万円 (2.0%)	118 万円 (2.3%)	207 万円 (4.0%)	313 万円 (6.0%)	5,198 万円
80～99 頭	6,278 万円 (83.3%)	387 万円 (5.1%)	169 万円 (2.2%)	291 万円 (3.9%)	178 万円 (2.4%)	404 万円 (5.4%)	7,537 万円
100 頭～	9,948 万円 (86.1%)	493 万円 (4.3%)	150 万円 (1.3%)	322 万円 (2.8%)	270 万円 (2.3%)	516 万円 (4.5%)	11,550 万円

(9 県：115 戸)

	生乳販売	子牛販売		育成牛販売	廃用牛等販売	その他	合計
		初生牛販売					
平均	5,471 万円 (87.5%)	427 万円 (6.8%)	190 万円 (3.0%)	16 万円 (0.3%)	157 万円 (2.5%)	180 万円 (2.9%)	6,253 万円
1～29 頭	2,091 万円 (88.8%)	136 万円 (5.8%)	39 万円 (1.7%)	13 万円 (0.6%)	54 万円 (2.3%)	62 万円 (2.6%)	2,356 万円
30～49 頭	3,527 万円 (88.9%)	313 万円 (7.9%)	59 万円 (1.5%)	12 万円 (0.3%)	74 万円 (1.9%)	40 万円 (1.0%)	3,967 万円
50～79 頭	5,832 万円 (88.1%)	393 万円 (5.9%)	118 万円 (1.8%)	35 万円 (0.5%)	194 万円 (2.9%)	164 万円 (2.5%)	6,617 万円
80～99 頭	8,146 万円 (86.2%)	477 万円 (5.0%)	101 万円 (1.1%)	0 万円 (0.0%)	381 万円 (4.0%)	446 万円 (4.7%)	9,449 万円
100 頭～	17,498 万円 (86.2%)	1,553 万円 (7.7%)	1,119 万円 (5.5%)	0 万円 (0.0%)	470 万円 (2.3%)	779 万円 (3.8%)	20,299 万円

表2 経産牛1頭当たりの酪農部門収入額

	全体 (平均 95.9 万円)	北海道 (平均 82.1 万円)	9 県 (平均 108.9 万円)
1 頭～29 頭	100.1 万円	79.6 万円	102.9 万円
30 頭～49 頭	98.9 万円	91.7 万円	103.8 万円
50 頭～79 頭	95.5 万円	84.1 万円	108.3 万円
80 頭～99 頭	90.8 万円	84.1 万円	107.3 万円
100 頭～	96.1 万円	75.8 万円	114.9 万円

4 乳用種初生牛1頭当たり生産費

(1) 地域別

平成26年度における乳用種初生牛1頭当たり生産費は12,091円となった。主な内訳は「労働費」6,856円(56.7%)、「飼料費」2,929円(24.2%)、「獣医師料及医薬品費」720円(6.0%)、「生産管理費」685円(5.7%)となり、「労働費」と「飼料費」で80%以上となっている。

地域別にみると、北海道では生産費が10,688円となり、内訳として「労働費」5,942円(55.6%)、「飼料費」2,940円(27.5%)、「獣医師料及び医薬品費」779円(7.3%)、「生産管理費」378円(3.5%)となっている。

9県は生産費13,129円となり北海道に比べ2,441円高い。その要因としては「労働費」7,532円(57.4%)、「生産管理費」913円(7.0%)、「敷料費」582円(4.4%)等が北海道より高いことによる。労働費については労働費単価が高いこと等が影響している。

(2) 経産牛飼養頭数規模別

乳用種初生牛1頭当たり生産費を規模別にみると、1頭当たりの生産費が最も高い階層は「1～29頭」層で13,639円となり、前年度の同階層に比べ10円減でほぼ同水準であった。

一方、生産費が最も低い階層は「80～99頭」階層で10,942円となり、前年度の同階層に比べ3,722円低い額になっている。生産費が最も高い階層と低い階層との差は2,697円となっている。

「1～29頭」階層の生産費が最も高く、「100頭以上」階層を除けば、頭数規模の拡大とともに生産費が低下している。

北海道は、生産費が最も高い「1～29頭」階層で1頭当たり12,052円となったが、前年度同階層に比べては198円低下した。最も低い「80～99頭」階層では9,759円となり、前年度同階層と比べて4,045円低下した。最も高い階層と低い階層との差額は2,293円となる。「100頭以上」階層を除けば、頭数

規模の拡大とともに生産費が低下する傾向が見られた。

9県では、生産費が最も高い「1～29頭」階層で1頭当たり13,865円となったが、前年度同階層に比べて203円減となっている。最も低いのは「100頭以上」階層で11,765円となり、この階層に相当する前年度の区分である「80頭以上」階層と比べて1,949円低い額となった。最も高い階層と低い階層との差額は2,100円となる。9県においては、全体や北海道とは異なり、頭数規模と生産費の間に相関は見られなかった。「100頭以上」階層を除いた4つの階層における生産費にはあまり大きな差がなかった。

表3 調査対象経営の乳用種初生牛1頭当たり生産費

(全体)

	労働費	飼料費	敷料費	獣医師料 医薬品費	水道光熱 料動力費	生産管理 費	修繕費	その他 資材費	生産費合計
平均	6,856円 (56.7%)	2,929円 (24.2%)	449円 (3.7%)	720円 (6.0%)	362円 (3.0%)	685円 (5.7%)	66円 (0.5%)	24円 (0.2%)	12,091円
1～29頭	8,647円 (63.4%)	2,867円 (21.0%)	284円 (2.1%)	406円 (3.0%)	522円 (3.8%)	877円 (6.4%)	0円 (0.0%)	35円 (0.3%)	13,639円 (100.0%)
30～49頭	6,958円 (57.9%)	2,959円 (24.6%)	326円 (2.7%)	776円 (6.5%)	299円 (2.5%)	690円 (5.7%)	0円 (0.0%)	16円 (0.1%)	12,024円 (100.0%)
50～79頭	6,742円 (57.0%)	2,776円 (23.5%)	552円 (4.7%)	789円 (6.7%)	298円 (2.5%)	664円 (5.6%)	0円 (0.0%)	10円 (0.1%)	11,831円 (100.0%)
80～99頭	5,408円 (49.4%)	3,724円 (34.0%)	210円 (1.9%)	607円 (5.5%)	492円 (4.5%)	391円 (3.6%)	29円 (0.3%)	80円 (0.7%)	10,942円 (100.0%)
100頭～	5,190円 (46.1%)	2,826円 (25.1%)	835円 (7.4%)	988円 (8.8%)	316円 (2.8%)	628円 (5.6%)	470円 (4.2%)	17円 (0.2%)	11,270円 (100.0%)

(北海道)

	労働費	飼料費	敷料費	獣医師料 医薬品費	水道光熱 料動力費	生産管理 費	修繕費	その他 資材費	生産費合計
平均	5,942円 (55.6%)	2,940円 (27.5%)	269円 (2.5%)	779円 (7.3%)	324円 (3.0%)	378円 (3.5%)	32円 (0.3%)	25円 (0.2%)	10,688円
1～29頭	8,700円 (72.2%)	2,500円 (20.7%)	233円 (1.9%)	270円 (2.2%)	303円 (2.5%)	40円 (0.3%)	0円 (0.0%)	5円 (0.0%)	12,052円 (100.0%)
30～49頭	5,956円 (55.5%)	3,043円 (28.4%)	325円 (3.0%)	610円 (5.7%)	237円 (2.2%)	535円 (5.0%)	0円 (0.0%)	22円 (0.2%)	10,730円 (100.0%)
50～79頭	6,255円 (58.2%)	2,776円 (25.8%)	308円 (2.9%)	683円 (6.4%)	385円 (3.6%)	328円 (3.1%)	0円 (0.0%)	5円 (0.0%)	10,740円 (100.0%)
80～99頭	4,810円 (49.3%)	3,538円 (36.3%)	200円 (2.0%)	568円 (5.8%)	229円 (2.3%)	304円 (3.1%)	0円 (0.0%)	110円 (1.1%)	9,759円 (100.0%)
100頭～	5,145円 (47.6%)	2,833円 (26.2%)	163円 (1.5%)	1,616円 (14.9%)	392円 (3.6%)	456円 (4.2%)	193円 (1.8%)	12円 (0.1%)	10,810円 (100.0%)

(9県)

	労働費	飼料費	敷料費	獣医師料 医薬品費	水道光熱 料動力費	生産管理 費	修繕費	その他 資材費	生産費合計
平均	7,532円 (57.4%)	2,921円 (22.3%)	582円 (4.4%)	677円 (5.2%)	390円 (3.0%)	913円 (7.0%)	91円 (0.7%)	22円 (0.2%)	13,129円
1~29頭	8,639円 (62.3%)	2,920円 (21.1%)	292円 (2.1%)	426円 (3.1%)	553円 (4.0%)	997円 (7.2%)	0円 (0.0%)	39円 (0.3%)	13,865円 (100.0%)
30~49頭	7,584円 (59.1%)	2,907円 (22.7%)	326円 (2.5%)	880円 (6.9%)	338円 (2.6%)	787円 (6.1%)	0円 (0.0%)	12円 (0.1%)	12,833円 (100.0%)
50~79頭	7,295円 (55.8%)	2,776円 (21.2%)	827円 (6.3%)	909円 (7.0%)	200円 (1.5%)	1,045円 (8.0%)	0円 (0.0%)	17円 (0.1%)	13,068円 (100.0%)
80~99頭	6,842円 (49.6%)	4,172円 (30.3%)	235円 (1.7%)	700円 (5.1%)	1,124円 (8.2%)	600円 (4.4%)	100円 (0.7%)	9円 (0.1%)	13,782円 (100.0%)
100頭~	5,239円 (44.5%)	2,817円 (23.9%)	1,558円 (13.2%)	312円 (2.7%)	235円 (2.0%)	814円 (6.9%)	769円 (6.5%)	22円 (0.2%)	11,765円 (100.0%)